

מִדְבָּר

「神よ。あなたは私の神。
私はあなたを切に求めます。
水のない、砂漠の衰え果てた地で、
私のたましいは、あなたに渴き、
私の身も、あなたを慕って気を失うばかりです。
私は、あなたの力と栄光を見るために、
こうして聖所で、あなたを仰ぎ見えています。」
(詩篇63篇1～2節)

「荒野」に導かれる。金聖圭師
CFNJタイメーソートアウトリーチレポート!
CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院

2024年9月・10月号 NO.193

מדבר

「荒野」に導かれる。 「ミドバル」

金聖圭 (キム・ソング) 師

学院講師・IJCC (ジーザスコミュニティ石狩教会) 牧師



「荒野」とは？

私たちは聖書に出てくる「荒野」について、いったいどんなイメージを持っているのでしょうか。多くの方はあまり良いイメージではないと思います。勿論、人を鍛えたり強くさせる「神の訓練」という側面もあります。でも実体は「苦しみ場所」です。例えば、『私は今、人生の荒野を通らされています』と言う時、その意味は、『私は今、試練の只中にいます。』ということの意味するわけです。ですから「荒野」とは、水もなく、茫漠とした砂漠のような乾き切った不毛の地であり、私たちは本能的に「荒野」を嫌い導かれたいくす所です。それよりは、勿論！「緑の牧場、憩いの水のほとり (詩篇 23 篇)」のほうが好きです。人は誰でも「荒野」ではなく、「緑の牧場、憩いの水のほとり」に導かれたいと自然に願うのです。ところがダビデが「詩篇 23 篇」で言っている「緑の牧場、憩いの水のほとり」も、実は、「荒野」なのです！なぜなら聖書が語る「荒野」の本質は、決して、私たちが思っているような水もなく、茫漠とした砂漠のような乾き切った不毛の地ではないからです。

民は「荒野」に導かれた。

「その後、モーセとアロンはパロのところにいき、そして言った。『イスラエルの神、主がこう仰せられます。わたしの民を行かせ、荒野 (ミドバル) でわたしのために祭りをさせよ。』」(出エジプト記 5 章 1 節) 「荒野」は神様がイスラエル (教会、私たち) をエジプト (古い天と古い地) から出エジプトさせ、連れて行かれる最初の目的地であり、この「荒野」を通してはじめて「カナン地 (新しい天と新しい地)」に入っていくことができます。

「荒野」は神の御元。

「あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に載せ、わたしのもとに連れて来たことを見た。」(出エジプト記 19 章 4 節) 出エジプト記 19 章の背景は、シナイ山です。出エジプトをしたイスラエルの民がシナイ山の下に宿営をしている時です。イスラエルをエジプトから連れ出された神様はイスラエルの民をシナイの「荒野」に導かれましたが、

(次ページに続く)

神様はその「荒野」を「わたしのもと」と言っておられます。すなわち、「荒野」は実は「神の御住まい」であるということが、ここに明確に語られているわけです。どうして、「荒野」を神様は「わたしのもと」だと言われたのでしょうか。その理由をイエス様の姿から確認します。

「荒野」の本当の意味。

「荒野」を意味するヘブライ語は「ミドバル **מִדְבָּר**」ギリシャ語で荒野は「エレモス **έρημος**」です。

「そしてすぐ、御霊はイエスを荒野(エレモス)に追いやられた。」(マルコの福音書 1章 12節)

イエス様は、バプテスマのヨハネから洗礼を受けられた後、御霊によって、「荒野」へ追いやられたと書かれています。このイエス様が追いやられた「荒野」は「ユダの荒野」ですが、イエス様はこの「荒野」で四十日間の断食をされ、サタンの誘惑を受けられました。

「さて、イエスは、朝早くまだ暗いうちに起きて、寂しい所(エレモス)へ出て行き、そこで祈っておられた。」(マルコの福音書 1章 35節)

ここでは、「寂しい所」と訳されていますが、ギリシャ語では「エレモス」です。イエス様が好んで行かれた場所、いつも父と交わり、祈られた場所が正に「荒野」です。そして、イスラエルのガリラヤに行くと、ガリラヤ湖の北側に小高い丘がありますが、そこに「エレモス」と



呼ばれる場所があります。そこは、イエス様が多くの時間を過ごされた場所です。イエス様の憩いの場所は「荒野(エレモス)」であったこと

が分かります。

ですから、聖書が言っている「荒野」は、私たちがイメージする「荒野」ではなく、実に、「神の御元」、イエス様が、「いつもおられた場所」。そして、「神の御住まい」です。すなわち、「荒野」は「聖所」であることが分かります。だから、「荒野」は「私たちがいるべき場所」でもあります。

「荒野」は居場所、養う場所。

「あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に載せ、わたしのもとに連れて来たことを見た。」(出エジプト記 19章 4節)

「しかし、女は大鷲の翼を二つ与えられた。自分の場所である荒野に飛んで行って、そこで一時と二時と半時の間、蛇の前をのがれて養われるためであった。」(ヨハネの黙示録 12章 14節)

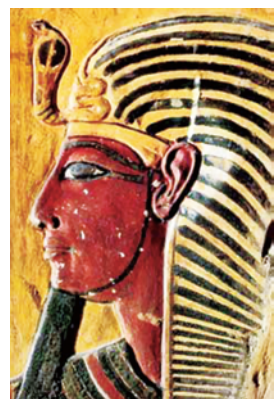
出エジプト記 19章 4節の霊的啓示は、そのまま黙示録 12章 14節に繋がります。この2つの聖句は完全に一致する霊的啓示です。出エ



ジプト記 19章では、「荒野」を神様のみもとと言っていますが、黙示録 12章では「荒野」を「女の場所」(自分の場所である荒野)と言っています。「女」は「イスラエル(教会)」です。また、「鷲の翼」も両方に書かれています。「鷲」

は「神の使い」です。「荒野」は「神のみもと」です。

「蛇」は「パロ」を意味し、パロの王冠には蛇の形が実際に飾られています。「荒野」は「神の御住まい」であり、また、「女(イスラエル、教会、私たち)の居場所」でもあることが分かります。そして、神様はその「荒野」で、私たちが養われます。



「ミドバル מִדְּבָר」 神の御言葉のある場所。

黙示録12章14節には神様が女（イスラエル、教会、私たち）を「荒野」に導かれる目的が明確に書かれています。それは神のみもとである「荒野」で私たちが養うためです。では、神様は「荒野」で何を持って私たちが養うのでしょうか？

「荒野」を意味するヘブライ語「ミドバル」にそのヒントがあります。ヘブライ語で「荒野」を意味する「מִדְּבָר מִדְּבָר」は、接頭前置詞「מ」と「דָּבָר」で構成されていますが、「מ」は「場所」という意味、「דָּבָר」は「御言葉」という意味です。

すなわち「荒野」とは、「神の御言葉のある場所」、「神の御言葉を聞く場所」であることが分かります。「荒野」は私たちが考えているような、水もなく、茫漠とした砂漠のような乾き切った不毛の地ではなく、「神様が御言葉を持って私たちが養われる場所」であるということです。正にダビデが、詩篇23篇で言っている「緑の牧場、憩いの水のほとり」は「荒野」なのです。神様がイスラエル（教会、私たち）を「荒野」に導かれる根本的な理由、目的がこれで明らかになります。

「アンナスとカヤパが大祭司であったころ、神のことばが、荒野でザカリヤの子ヨハネに下った。」（ルカの福音書3章2節）

「荒野 מִדְּבָר מִדְּבָר」は神の聖所。

ダビデの賛歌。彼がユダの荒野にいたときに「神よ。あなたは私の神。私はあなたを切に求めます。水のない、砂漠の衰え果てた地で、私のたましいは、あなたに渴き、私の身も、あなたを慕って気を失うばかりです。私は、あなたの力と栄光を見るために、こうして聖所で、あなたを仰ぎ見えています。」（詩篇63篇1～2節）

この詩篇は、ダビデが「ユダの荒野」にいたときに書いたものですが、驚くことにダビデは「荒野」を「神の聖所」だと言っています。聖書を読むとダビデと「荒野」は切っても切れない関係があることが分かります。実に多くの「荒野」をダビデは経験しました。ダビデにとって「荒野」は「自分の居場所」のようなところであっ

たと言えます。サウル王とダビデ王の決定的な違いが「荒野」にあります。それは、単なる訓練とそれによる訓練という意味を超えて、ダビデは「荒野」で神の御言葉によって養われた人物であるという意味です。だからサウル王は、「神の御言葉の場所」である「荒野」を通らなかったため、神の御言葉を聞くことができない者であったのに対し、ダビデは、神の御言葉を聞くことができ、神の御言葉によって養われた者であったということです。

ダビデの子として来られたメシアであるイエス・キリストも、いつも「荒野」におられました。

「イエスはこのことを聞かれると、舟でそこを去り、自分だけで寂しい所（エレモス）に行かれた。すると、群衆がそれと聞いて、町々から、歩いてイエスのあとを追った。」（マタイの福音書14章13節）

「さて、イエスは、朝早くまだ暗いうちに起きて、寂しい所（エレモス）へ出て行き、そこで祈っておられた。」（マルコの福音書1章35節）

「しかし、イエスご自身は、よく荒野に退いて祈っておられた。」（ルカの福音書5章16節）

イエス様はいつも「荒野」で休まれました。「荒野」は「イエス様の居場所」です。「荒野」は苦しみ場所、厳しい訓練の場所ではなく、私たちが「神の御言葉で養われる緑の牧場」であり、「憩いの水のほとり」なのです！この「荒野」に私たちは導かれる必要があります。ですから私たちもダビデのように「まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みが、私を追って来るでしょう。私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。」（詩篇23篇6節）と告白するものでありたいものです！

「あなたの神、主が、この四十年の間、荒野であなたを歩ませられた全行程を覚えていなければならない。それは、あなたを苦しめて、あなたを試み、あなたがその命令を守るかどうか、あなたの心のうちにあるものを知るためであった。」

それで主は、あなたを苦しめ、飢えさせて、あなたも知らず、あなたの先祖たちも知らなかったマナを食べさせられた。それは、人はパンだけで生きるのではない、人は主の口から出るすべてのもので生きる、ということを、あなたにわからせるためであった。」（申命記8章2～3節）



アウトリーチの感謝のご報告!

CFNJ Thailand MaeSot Outreach Report! 2024.7.17~25

CFNJタイメーソートアウトリーチレポート!

「主の栄光を国々の中で語り告げよ。その
奇しいわざを、すべての国々の民の中で。」
(詩篇96篇3節)

主イエスキリストの力ある御名を崇め、
賛美します!

CFNJ 聖書学院では、上記のみ言葉に従い、
7月17日から25日迄の9日間、タイ国の
「メーソート」にアウトリーチに出かけ、
無事任務を果たし終えて、戻ることが出来
ました。

たくさんの方々のお祈りと尊い献金によ
り、参加費が満たされただけでなく、訪問
先のメーソートで、ミャンマーからの難民
の方々と多くの子供たち、開拓教会や神学
校などに、たくさんの祝福をお届けするこ
とができたことを心から感謝しています
今回CFNJのチームは、全部で10人では
したが、中には初めての海外旅行という学生も
いる中、本当に一人一人が素晴らしい主の
恵みと学びを受け取ることが出来ました。

学生たちはミャンマー語の賛美や証、スキッ
トやメッセージと、行く先々で大きく用い
られました。

それぞれの感想をまとめた、アウトリー
チレポートが完成しました。ご希望の方
にはお送りしますので学院事務局まで申し
込みください。学院ホームページで見
ることもできますので、ぜひご覧ください。
これをお読みになる皆様の上に、主の豊かな
恵みと祝福がありますように、心からの感
謝を込めてお祈りいたします。本当にあり
がとうございました。

2024年8月恵日
CFNJ 聖書学院
アウトリーチチーム一同と

学院長 鍛冶川利文&紀子



「全世界に出て行き！」

マルコ16章15節



学院長 鍛冶川利文

■ようやくコロナ禍も治まり、5年ぶりの学院の海外アウトリーチを無事に終えることが出来ました。先ずはこのアウトリーチの必要の為に、お祈りやご支援をしてくださったすべての皆様に、心からの感謝とお礼を申し上げたいと思います。皆様のご支援を頂き、「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」(マルコ16章15節)との主からのご命令を果たすことが出来ました。全ての感謝と賛美を主にお捧げします！

今回、7月17日から25日迄の9日間の日程で、タイ北部にある「メーソート」という町に行きました。この町はミャンマーとの国境近くにあり、資料によると人口は約10万人程だそうです。しかし実際には、その何倍もの数のミャンマーからの人々が、内戦や迫害、又、貧困などの理由で逃れて暮らしています。その数は何と20万人から30万人にのぼり今も増え続けているという事です。

そのメーソートに私たちは「伊藤 仁宣教師」



の紹介で訪問させて頂きました。その訪れた場所は韓国からの宣教師や教会の支援によって設立された幾つかの教会。(その中には開拓中の教会もありました。)それと、神学校。そしてミャンマーから逃

げてきた子供たちを受け入れている難民学校でした。9日間の内、往復の行き来をのぞくと、実質は5日間の滞在でしたが、合計、7カ所の場所を訪問することが出来ました。

イエス様が宣教命令の中で、先ずは「出て行って。」と仰られた意味はとても大きいと思います。わずか5日間の滞在でしたが、「出て行き」、はじめて「見える事」「感じる事」。そして「分かる事」があるからです。先ず、「見える」事は、その「大変な状況」です。日本とはあまりにも違う状況に驚きました。ミャンマーの内戦から、何も持たず逃れてきた多くの人たちが、とても貧しく過酷な状況の中で暮らしていました。それらの人々は、異国の地で、何の身分の保証もなく、毎日を不安な思いで生活をしなければならないのです。すぐ目の前の山の向こうは、祖国ミャンマーです。

ですから逃れて住んでいる人々は毎日、その山を、どんな思いで見ているのだろうと考えると、とてもつらい気持ちになりました。



現地の牧師からは、「その場所では写真を撮らないように。」と言われました。それは自分たちの貧しい姿を人に知られたくないからだそうです。そんなつらい現実を見ました。

CFNJ Thailand MaeSot Outreach Report 2024

次に、「感じる事」は、「神の御業の働き」です。確かにそのような大変な状況ですけれど、神様は力強く働いておられました。神学校には多くの学生が学び、教会には沢山の信徒が集っていました。又、難民学校には子供たちが溢れていて、ある教会が経営している学校には、約300人位の子供たちが聖書を学び、御言葉に従って勉強しているのです。



しかも、その数が、毎月のように増え続けているそうです。勿論、その学校を維持することは、とても大変なご苦労もある事もお聞きしましたが、しかし、神様が、不思議な方法で全てを満たして下さっておられることにも驚かされました。その多くの子供達を指導し教えているのは、献身した神学校の卒業生だそうです。そこでは神様の素晴らしい御業を感じる事が出来ました。福音だけが人を造りかえることが出来る。人を満たすことが出来る。それが見て感じた実感でした！

そして、最後に、「分かった事」は、とにかく、「出て行く」ことです。実際に滞在期間はわずかですから、私たちはわずかな事しか出来なかったと思います。しかしそれでも主は出て行くことを願っておられると思いました。今回のアウトリーチの計画を立てた時に、その旅費に一人分が20万円が必要でした。しかし当初はそれがありませんでした。ぜんぜん足りませんでした。又、他にもいくつかの困難な状況もありました。しかし、とにかく主は必ず満たして下さいと信じ祈り始めまし

た。すると出発直前までに全ての費用が備えられました！それも十分に！いや！それ以上に満たされました！ハレルヤ！その中から現地の教会や施設の必要の為に僅かですが捧げることも出来ました！これまでのアウトリーチもそうでしたが、とにかく「出て行く」事は、主が喜んでおられ、御心である事が分かりました。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」(マルコ16章15節) このご命令の通り、出て行き、そして、見て、感じて、福音を伝えるものでありたいと思います。

あらためまして、今回のアウトリーチの為に支援下さった皆様に心からの感謝を申し上げます。又、現地において私たちチームを受け入れて下さり、お世話して下さいました先生方、特に、メーソートの教会の「サイン・ドゥ先生ご夫妻」には心からの感謝を申し上げます。そして、全ての旅の行程を守り、導いて下さった神様に、感謝と賛美をお捧げします！ハレルヤ！



祝 入学！卒業！

■2024年4月15日（月）、午前10時より、2024年度の入学式、及び、2023年度の卒業式が執り行われました。この日、新入生として4名。3年目のアルプスコースの入学生として2名。又、2年コース1名。更に1年修了の1名と、合計8名がそれぞれの道をスタートしました。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。」（ヨハネ14章6節）の御言葉通り、主の道を真っ直ぐに歩いていけるようにお祈りを願います。



入学！



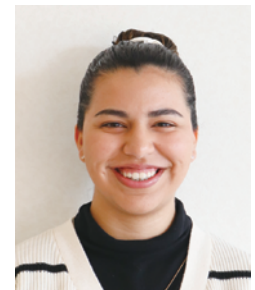
■ハレルヤ！主の御名をほめたたえます。神学校は無縁と思っていたような自分でしたが、御言葉や人との出会いを通して少しずつ道が造られ、この学院に導かれました。神様のご計画と導きに感謝と感動しかありません。これまで祈り、愛を注ぎ続けてくれた母教会の方々、そして父と母に感謝します。神様を礼拝する者としての成長のために、神様の愛と癒しの中で全人格的に取り扱われ、何より神様との関係が深まることを期待しています！

●中澤 美樹（1年生）



■最初に神様と私のためにお祈りしてくれた方に心から感謝をしたいです。CFNJ 聖書学院に来ることができてとても嬉しいです。ここに辿り着くまで、たくさんの戦いがありました。でも辿り着くことができました！色々な困難そして不安があります。でも私は神様に呼ばれたと信じてます。そして神様が私に与えたい大きな賜物があると信じてます。神様を信じてこれからの生活でもっと学んでいきたいです。みんなに感謝します。

●タヒラ デボラカオリ（1年生）



■CFNJ 聖書学院に導かれたことを感謝します。不安なことも多いですが、この学院で私に神様が何をしてくださるのか、又、何をを見せて下さるのか期待して日々を過ごして行きたいと思います。自分を見つめ直す期間でもあり、神様と深く関わって行きたいと願っています。学びの為にお祈り頂けると感謝です。

●宮内 仰（1年生）



■学院に入学できたことに感謝します、ハレルヤ！神学校については何年も祈っていましたが、決断できていませんでした。しかし思いが与えられ、体験入学の時に確信が与えられました。自分の力ではなく、神に信頼することを学び、成長していくことを期待しています。祈ってくださった兄弟姉妹、先生方全てに感謝します。

●木藤 穰（1年生）





■多くの方の祈りと神様の恵みで3年目へ進学することになりました。これまで過ごした中で、神様が自分の思っていなかった方法で、自分の思っていなかった所を、自分の思っていなかった領域まで器自体、また神様との関係を造りかえ、回復しようとして下さっているのを感じます。最後の年もこれまで導いてくださった神様に期待しています。3年目の歩みの祝福、また学院それぞれの祝福を続けてお祈りくだされば感謝です。積まれているお祈りに本当に感謝しています。



●北坂 信頼(アルプスコース 3年目)



■昨年の7月に2年コースを修了してから、様々な費用の満たしの為、2学期間の休学期間をいただき、今年の4月からALPSコースに入学するために復帰しました。これからの一年間、主に期待して学び、更に成長を目指していきたいと思っています。お祈りよろしくお祈いします。



●ロケ ジョシュ 輝 (アルプスコース 3年目)



■ハレルヤ、主の御名を誉めたたえます！無事に愛するイエス様と愛する兄弟姉妹達の支えのおかげで卒業することができた恵み、心からイエス様に感謝し、また兄弟姉妹の皆様へ感謝いたします！cfnj聖書学院の学びは僕の人生にとって、イエス様からのプレゼントでした！たくさんイエス様の愛を学院での学びを通して受け取ることができました！卒業後も、受け取った神様の愛をまだイエス様を知らない人たちに広めていきたいです！2年間ありがとうございました！



● 本山 聖(2年コース卒業)



■主の御名を褒め讃えます。この1年間、学院で主にある兄弟姉妹と共に過ごすことを許された学びの時を心より感謝いたします。何も分からず環境も知らずに備えられた地と時でしたが、本当に本当に沢山の助けと学びを受けて、学業と共同生活を終える事ができました。この期間は自分の出来ない真実を改めて見、主の赦しと御業によって歩める恵と回復、御霊による働きを更に体験した期間でした。受けた愛と恵みを、今後は与える者として主が用いて下さり主が大いに祝福してくださいませよう心より願っています。

● 埴 茂樹(1年コース修了)



CFNJ

予告!

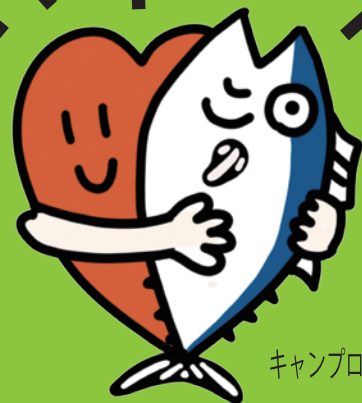
「マカレルキャンプ!」

人をサバかず主の愛にマカレル!

日時：(9/22) 16:00 ~ (9/23) 15:00

参加費：3000 円 参加資格：中学生以上のユース

※日帰りは不可。全日参加のみ受付。



キャンプロゴ

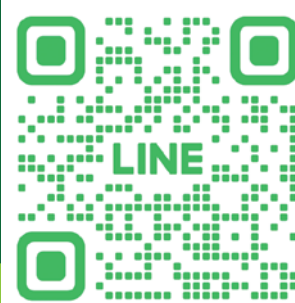
マカレル

* 持ち物：お菓子、お泊りグッズ、温泉グッズ、寝袋（必要な方はレジャーマット等も）お風呂代



← お申し込み

お問い合わせ ⇒



担当者：伊藤雄基（CFNJ スタッフ）

CFNJ 講義・ ゲストスピーカー

●ゲストスピーカーの講義は、どなたでも聴講できます。聴講は無料です。(席上献金あり。一部授業は有料) 又、各コースの授業も聴講可能です。(有料) 詳しくは学院事務局迄お問い合わせください。

**無料体験入学
実施中!**
平常授業のある3日間 (3泊4日)

2024 年度 2 学期 授業カリキュラム スケジュール

(2024年9月2日 (月) ~11月29日 (金)迄)

**2024年
10月・11月**



岩崎 義幸 師

日野キリスト教会牧師

10/21~25
1・2時間目

■東京都日野市出身。1979年生まれ。クリスチヤンの家庭で育つ。「人の役に立つ人間になりたい」という願いがいつも心にあったが、周囲の状況を何1つ変えられない自分の無力さに気づかされていく。17才の時、壮絶な試練の中でも喜び輝いている外国人牧師との出会いを通して人生が変えられる。2003年 CFNJ 聖書学院卒業。2008年テキサス州 Christ For The Nations 卒業。2009年甲府めぐみキリスト教会牧師就任。2016年日野キリスト教会牧師就任。2001年結婚。妻、娘、息子の4人家族。趣味は読書、温泉、水泳。



金 遇賢 師

(キム ウヒョン)

11/13・14
1・2・3時間目

■監督。韓国国営放送 KBS のドキュメンタリー映画監督として働き、現在は神の御国のための映像と御言葉を伝える事に集中している。「天のことば」「八つの祝福シリーズ」「神の心臓イスラエル」「主の道を辿って」を執筆。

1・2年コース

(敬称略)

	月	火	水	木	金
1 AM 8:45~9:40	新約聖書概論2 金聖圭	ローマ書 長沢克己	説教1 鍛冶川利文	組織神学1 鍛冶川利文	組織神学2 松原望
2 AM 10:00~10:55					
3 AM 11:05~12:00	音楽理論 レオ・ジョンズ	聖書の地理 金聖圭	賛美礼拝の世界へ 奥山直毅	詩篇2 田中博	世界宣教のビジョン 伊藤仁

アルプスコース (必修科目)

1 AM 8:45~9:40	祈り 田中博	主の祭り 金聖圭	五役者の学び 岡田好弘	伝道牧会の実践 石田吉男	ヨブ記? 小栗昭夫
2 AM 10:00~10:55					
3 AM 11:05~12:00	音楽理論 レオ・ジョンズ	伝道のマスタープラン 鍛冶川利文	聖書的存在論 坂本清憲	伝道のマスタープラン 鍛冶川利文	聖書釈義2 松原望

選択科目

午後 PM13:00~15:00	ヘブル語クラス 金聖圭 (一年コース)	タンバリンクラス中級 伊藤雄基	実習 (必修)	ドラマ演劇クラス 鍛冶川紀子
		ピアノクラス 伊藤雄基		

随時願書受付中!

新入生募集中!

cfnj.com

無料体験入学
実施中!

平常授業のある3日間(3泊4日)

※詳しくは事務局まで。

2024年9月入学、
各学期からの入学可。

- アルプスコース(牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース(1学期だけの短期で学ぶ事も可能です)

■SNSでCFNJの最新情報を

- ・Facebook : @CFNJBS
- ・Instagram : CFNJ 聖書学院

感謝のご報告と祈りの課題

偉大な主の御名を心から賛美いたします!

1. 皆様のお祈りにより、学院のボイラーの新設工事が、この夏休み期間に無事完了いたしました。ハレルヤ! 何度かの試運転の結果、今まで十分行き届かなかった暖房が、ホールを始め、寮の各部屋に行き届くようになり、来るべき冬に向かつての準備が整いました。この新設工事のために莫大な費用を献金して下さった神の家族の皆様方に、主の豊かな祝福と100倍の報いがありますように、感謝を込めて、お祈りいたします。
2. 2学期に一人の新入生が与えられたことを感謝します。主が更に飢え渴いた心を持った学生を増し加えてくださるようにお祈りください。
3. 今年の冬が来る前に大型の除雪機(ミニホイールローダー)が与えられるようにと祈ってきましたが、今日までにすでに200万円を捧げて下さった方がおられることを心から感謝致します。雪が降る前にすべての費用が満たされて、新しい除雪機を購入できるように、お祈りください。



CHRIST
FOR THE NATIONS
JAPAN

宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ 聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

- HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
- e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

